

高血圧治療薬の使用実態と降圧効果の予測に関する研究

The study on the utilization of hypertension drugs and the estimation of their antihypertensive effect

日本大学薬学部では医療機関と共同で、高血圧治療薬の使用実態と治療成績について解析しています。使用させていただく情報の中に、個人を特定するような情報は含まれていません。

ご心配な点や不明な点がございましたら、実施施設の調査責任医師または相談窓口までご相談ください。

調査期間：2022年、24年および26年の6月、7月
目的：高血圧治療薬がどの様に使われ、どれ位の治療実績があるかを調べます。また、血圧値の予測に関する検討を行います。

対象患者様：関越病院の外来に受診している高血圧症患者様で、高血圧治療薬を処方されている方

調査項目：処方されているお薬、診察室での血圧、過去に経験された病気の種類、血液検査値

研究期間：2025年3月～2028年3月



社会医療法人社団 新都市医療研究会[関越]会
関越病院

〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市脚折145-1
TEL：049-285-3161（代表）

調査責任医師：名誉院長 田中政彦（内科）



日本大学 薬学部

SCHOOL OF PHARMACY, NIHON UNIVERSITY

医薬品評価科学研究室

〒274-8555 千葉県船橋市習志野台7-7-1

研究責任者 荒川 基記